

PROFILE

う かい ひ さ し
鵜飼 尚史 さん

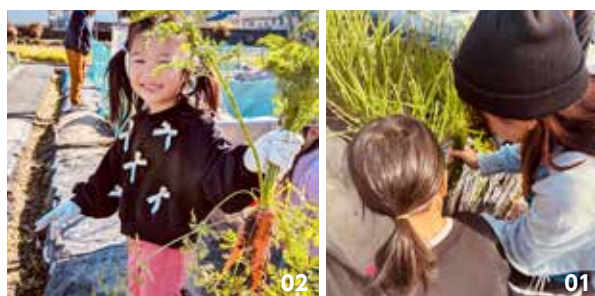
東京都 → 紀宝町井田

移住の時期：令和7年11月
家 族：妻、子ども2人

MESSAGE

Q. 移住に悩んでいる人に一言

都市にも地方にも、それぞれのよさがあります。人との距離感や世代を超えた関わり、地域ならではの魅力は実際に触れてこそ分かるものです。移住に迷ったら、週末や短期間でも地域に入り込み、暮らしを体験してみることをおすすめします。



01・02. キホツチョ農園で畑仕事を体験する鵜飼さんご一家。

「いつか」を 「いま」に 変えた移住

01

移住者の声
REAL VOICE

年齢や家族構成の変化を きっかけに移住を考えるように

移住前は、主に東京で仕事をしながら家族と暮らしてきました。妻の実家が紀宝町にあり、以前から「いつかは東紀州地域」という思いは抱いていました。当時は仕事や生活の面から、まだ現実的な選択肢とは言えませんでした。

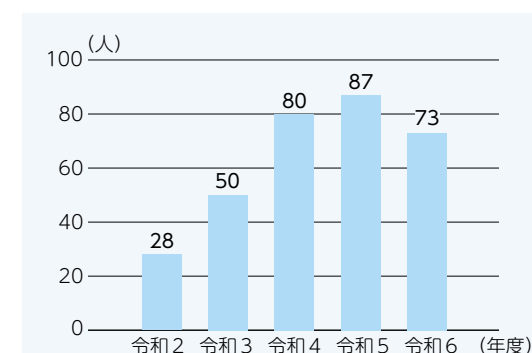
移住を考え始めたのは、年齢や家族構成の変化をきっかけに、これから先の暮らしや働き方を見つめ直すようになったことです。ただ、地方での暮らしに対する理想だけで決断することには迷いもありました。そこで、実際に足を運び、見て、聞いて、考える時間を重ねたことで、移住を決断しました。

移住前は、仕事や住まいに対する不安もありましたが、実際に移り住んでみると、地域の温かい人間関係や防災活動、子育て環境の充実に安心し、少しずつ地域に溶け込みつつあります。また、地域のイベントなどにも積極的に参加し、交流を深めていきたいと考えています。

今後は前職の経験を活かしながら、地域を支える取り組みに、自分ができる範囲で関わっていかれたらと思っています。日々の活動を通じて、農業をはじめとする田舎暮らしなどについても、地域の方々に教えてもらっています。

特集

移住という選択、紀宝町という答え



図：紀宝町への移住者数(町支援制度を利用し転入された方)

近年、町では「紀宝町で暮らす」という選択をする移住者が少しずつ増えています。

おだやかな気候や豊かな自然、顔の見える人とのつながりがあるこの町は、「帰る場所」としての魅力を感じさせてくれます。

仕事や子育て、暮らし方の価値観が大きく変わる現在、安心して住める環境や、懐かしさと新しさが共存する心地よさを求めて紀宝町に移り住む人たちがいます。

今回の特集では、紀宝町を選んだ移住者の声や移住に関する支援制度などをご紹介します。ぜひ、町の魅力を感じてみてください。